



平成29年7月19日
海上保安庁

日露海上警備機関長官級会合の開催について（結果）

～日露海上警備機関の連携協力の重要性を確認～

海上保安庁とロシア国境警備局は、海上における密輸・密航等の不法活動の取り締まり等において相互に協力しています。このたび、7月12日、モスクワにおいて、中島海上保安庁長官とクリショフ ロシア連邦国境警備局長との間で長官級会合を行いました。

1. 経緯

海上保安庁は平成12年9月、ロシア連邦国境警備庁（当時）との間で「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」を締結しました。これに基づき、両機関間ではこれまで累次にわたり各レベルにおける会合を行ない、協力関係の推進を図ってきました。

このたび、中島海上保安庁長官が訪露し、クリショフ ロシア連邦国境警備局長と4年ぶりとなる長官級会合を実施しました。

※ ロシア連邦国境警備庁（当時）は、連邦保安庁に編入され、国境警備局となった。

2. 開催概要

日 程： 平成29年7月12日（水）

場 所： ロシア・モスクワ ロシア連邦国境警備局施設

3. 参加者

日 本 側： 中島 敏 海上保安庁長官 ほか

ロ シ ア 側： クリショフ ロシア国境警備局長官 ほか

4. 結果概要

- 両国は、地方機関における合同訓練などを通じた二国間協力、及び「北太平洋海上保安フォーラム（NPCGF）」での多国間協力について、これまでの協力関係を評価しました。
- 今後とも、日露海上警備機関間で、本庁から地方までの様々なレベルにおいて緊密な連携をはかることで一致しました。
- 来年の会合を日本にて開催することで合意しました。

※ 会合の写真が必要な方は、政策評価広報室までお問い合わせ下さい。(03-3591-9780)